

和歌山病院での実習を終えて



南野 和佳

第三内科のポリクリ実習の一環として、2月27日から28日までの2日間、国立病院機構和歌山病院にてお世話になりました。様々なセミナーを中心に、たくさんのことを学ぶことができ、非常に充実した2日間となりました。

副院長の駿田先生のセミナーでは、結核の空気感染予防について教えていただきました。結核は接触感染をしないことを改めて学び、自分がこれまで間違った知識を勝手に持っていたことを認識し、大変有意義なセミナーとなりました。

院長の南方先生のセミナーでは、正常な胸部 Xp の読影の基礎となることを教えていただきました。わからないところを学生が納得するまで丁寧に教えていただき、非常にわかりやすく胸部 Xp の基礎について理解することができました。4年生の臨床講義では、今回のように時間をかけて教えてもらえるような内容ではなく、目からウロコのセミナーでした。試験に向けた暗記ばかりをするのではなく、分析することを大事にしなければならないというお話が印象に残りました。今回学んだことを活かして、今後のポリクリ実習で担当する患者さんの胸部 Xp の読影に、自分なりに取り組んでいきたいと思いました。

柳本先生のセミナーでは、酸素療法について教えていただきました。教科書の写真では見かけたことのある酸素マスクでしたが、はじめて実際に目にする機会となりました。鼻カニューラ、リザーバー付酸素マスク、ベンチュリーマスクの違いについて改めて学ぶことができました。

休場臨床工学技士さんのセミナーでは、酸素・呼吸補助機器の実際について教えていただきました。呼吸器モードの違いがあることを初めて学ぶ機会となりました。

最後になりましたが、大変お忙しい中、今回の和歌山病院での実習の機会を与えてくださった、南方先生をはじめお世話になったスタッフの皆様に厚く御礼申し上げます。